

# 平成 27 年度 事業報告書

平成 27 年 10 月 30 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人親子の未来を支える会

## 1 事業の成果（年度途中のため、現状までの報告となります。）

平成 27 年度は任意団体から特定非営利活動法人へと移行した年度であり、組織基盤の確立を主に行った。

また、事業開始にあたっての情報発信・意見交換の機会を多数設けた。一般参加型のワークショップを複数回行い、患者自身、医療者、行政など、多様な方々に参加していただいた。加えて、社会福祉法人や高等学校などを訪問し、視察・講演を行った。いずれも、市民の理解を深めるものであると同時に、胎児診断（出生前診断）・障がい者医療に関するサポート・啓発事業の重要性を改めて感じるものであった。

## 2 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
(1) 胎児診断・障がいに関する情報提供・情報収集事業	障がい/胎児診断/胎児治療に関する講演、障がい者サポートに関する視察や当 NPO の活動報告など合計 7 回の講演などを行う。	平成 27 年 11 月 11 日、11 月 12 日、11 月 22 日など	社会福祉法人森と木など講演開催場所	1～3 名	一般市民、障がい者、障がい者家族、医療者、胎児医療に関わる医師、看護師等
(2) 障がいに関するカウンセリング事業	オンラインピアサポートサービス「ゆりかご」開発	適宜、行う。	インターネット上や団体事務所	9 名	一般市民、妊婦、これから生まれる子供たち、胎児医療に関わる医師、看護師等
(3) 胎児医療・障がい者医療に関するサポート事業	22q11.2 欠失症候群・ダウン症候群・先天性心臓病 上記に対するサポートセンター立ち上げ	適宜、行う。	団体事務所	9 名	一般市民、妊婦、これから生まれる子供たち、胎児医療に関わる医師、看護師等